

「新」内科専門医・総合内科専門医試験対策問題集 〈1版2刷〉正誤表 (2024年10月現在)

本書をご購入いただきまして誠にありがとうございます。本書に以下の誤りがございましたので、ここに訂正・加筆させていただきますとともに深くお詫び申し上げます。

訂正箇所		誤	正	更新日
p.56	問題の選択肢	(b) ダル <b>ポ</b> ポエチン	(b) ダル <b>ベ</b> ポエチン	2023/6/15
p.78	4行目	トファン <b>ン</b> チニブ	トファン <b>シ</b> チニブ	2023/5/11
p.99	表1の「プロトロンビン活性 (%)」	1点… <b>80超 (1~3.9秒延長)</b> 2点… <b>50~80 (4~5.9秒延長)</b> 3点… <b>50未満 (6秒以上延長)</b>	1点… <b>70超</b> 2点… <b>40~70</b> 3点… <b>40未満</b>	2024/6/21
p.99	下から10行目	…PT 72.5% ( <b>50~80%で2点</b> ) でChild-Pugh分類は <b>合計7点</b> でBとなり…	…PT 72.5% ( <b>70超で1点</b> ) でChild-Pugh分類は <b>合計6点</b> でAとなり…	2024/6/21
p.128	問題の選択肢	(b) <b>亜</b> 硝酸薬の投与	(b) 硝酸薬の投与	2023/5/25
p.130	19行目	…また <b>亜</b> 硝酸薬も…	…また硝酸薬も…	2023/5/25
p.148	11行目	WPW症候群におけるこのタイプのPSVTは頻度的に少なく、 <b>長時間持続しにくい</b> ので、臨床的に問題となることは少ない。	WPW症候群でのPSVTでは圧倒的にこのタイプが多く、しばしば <b>長時間持続して臨床的に問題となる</b> 。	2023/7/25
p.148	下から3行目	WPW症候群でのPSVTでは圧倒的にこのタイプが多く、しばしば <b>長時間持続して臨床的に問題となる</b> 。このためWPW症候群におけるPSVTといえば、これのみを概説される場合もある。	WPW症候群におけるこのタイプのPSVTは頻度的に少なく、 <b>臨床的に問題となることは少ない</b> 。	2023/7/25
p.170	表1の「Stage III」の基準	血清β <sub>2</sub> マイクログロブリン≧ <b>3.5</b> mg/L	血清β <sub>2</sub> マイクログロブリン≧ <b>5.5</b> mg/L	2024/9/17
p.181	2行目	…エタノール換算にして男性は <b>50</b> g/日以下…	…エタノール換算にして男性は <b>30</b> g/日以下…	2023/7/6
p.209	9行目	…また <b>亜</b> 硝酸薬などは…	…また硝酸薬などは…	2023/5/25
p.248	問題の選択肢	(a) <b>亜</b> 硝酸薬	(a) 硝酸薬	2023/5/25
p.250	1行目	…や <b>亜</b> 硝酸薬も…	…や硝酸薬も…	2023/5/25
p.291	「試験の傾向」下2行目	…が再来しないなど、 <b>下垂体出血</b> をきっかけに…	…が再来しないなど、 <b>下垂体壊死・変性</b> をきっかけに…	2023/8/4
p.298	下から2行目	…チェックのうえ、400 mL <b>未満</b> /2時間が2回続いた場合に…	…チェックのうえ、400 mL <b>以上</b> /2時間が2回続いた場合に…	2024/10/16
p.317	表2の「I」	刺激 <b>すると</b> 覚醒 <b>する</b> 状態 (1桁の点数で表記)	刺激 <b>しないでも</b> 覚醒 <b>している</b> 状態 (1桁の点数で表記)	2023/5/11
p.325	図3解説、下から2行目	…放散する徴候を <b>Tinel徴候</b> という…	…放散する徴候を <b>肘部管症候群</b> という…	2023/7/13
p.326	12行目	・ <b>Tinel徴候</b> とは、肘部管で…	・ <b>肘部管症候群</b> とは、肘部管で…	2023/7/13
p.361	下から2行目	・責任血管と梗塞領域	・責任血管と梗塞領域 ( <b>個人差あり代表例を提示</b> )	2023/5/17
p.361	下から9行目	…の間に、 <b>亜</b> 硝酸薬ニトログリセリンの…	…の間に、硝酸薬ニトログリセリンの…	2023/5/25
p.362	1行目	…前壁中隔梗塞を生じる。	…前壁中隔梗塞を生じる。 <b>ただし、中枢部梗塞では広範前壁梗塞となる</b> 。	2023/5/17
p.362	2行目	②左冠動脈主幹部 (left main coronary trunk: LMT) 病変： <b>V1~V6, I, aVR, aVL</b> でST上昇がみられ、広範前壁および…	②左冠動脈主幹部 (left main coronary trunk: LMT) 病変： <b>多くは左室内膜下に広範囲の虚血が生じることを反映してaVRでST上昇、多数誘導でST低下がみられる</b> 。広範前壁および…	2023/5/17

「新」内科専門医・総合内科専門医試験対策問題集 〈1版1刷〉正誤表（2022年12月現在）

本書をご購入いただきまして誠にありがとうございます。本書に以下の誤りがございましたので、ここに訂正・加筆させていただきますとともに深くお詫び申し上げます。

訂正箇所	誤	正	更新日
p.4～5 表2タイトル箇所 p.5の2行め	CHADsスコア	CHADS <sub>2</sub> スコア	2022/12/9
p.50 図3 図中の上から2段め の2か所	尿中K < 22 mEq/g・Cr 尿中K > 22 mEq/g・Cr	尿中K < 20 mEq/g・Cr 尿中K > 20 mEq/g・Cr	2022/8/26
p.50 2行め	…（随時尿K） / （随時尿Cr）比が22 mEq/g・Cr …	…（随時尿K） / （随時尿Cr）比が20 mEq/g・Cr …	2022/8/26
p.16 2行め	…右第1～3足趾に…	…左第1～3足趾に…	2022/9/22
p.16 7行め	…右第1～3足趾に……右足趾の写真を示す（図1）。	…左第1～3足趾に……左足趾の写真を示す（図1）。	2022/9/22
p.54 6行め	…稀に異所性PHT産生腫瘍もある	…稀に異所性PTH産生腫瘍もある	2022/8/22
p.57 2行め	…ADAMTS13の除去…	…ADAMTS13の自己抗体の除去…	2022/9/22
p.64 下から8行め	…尿中Cr比が22 mEq/g・Cr以下の場合…考えられ、22 mEq/g・Crを超えて…	…尿中Cr比が20 mEq/g・Cr以下の場合…考えられ、20 mEq/g・Crを超えて…	2022/8/26
p.65 図2 図中の上から2段め の2か所	尿中K < 22 mEq/g・Cr 尿中K > 22 mEq/g・Cr	尿中K < 20 mEq/g・Cr 尿中K > 20 mEq/g・Cr	2022/8/26
p.65 3行め	…Cr補正での $7.9 \div 36.4 \times 1000 = 217.0$ mEq/g・Crとなり…	…Cr補正での $7.9 \div 364 \times 1000 = 21.7$ mEq/g・Crとなり…	2022/8/26
p.125 [表1] (注釈3)の2)の1行め	…からなる花症状…	…からなる花筵状…	2022/9/22
p.135 [図4]の説明	…尾状葉と被殻に…	…尾状核と被殻に…	2022/9/22
p.139 12～14行め	…DPP-4阻害薬のうち、シタグリプチン（グラクティブ®、ジャヌビア®）は腎機能の低下に伴い排泄が遅延し、血中濃度が上昇するため禁忌となっており、使うとすれば、…	…DPP-4阻害薬は、シタグリプチン〔グラクティブ®、ジャヌビア®。透析患者に慎重投与扱いで1日1回12.5 mg（最大25 mg）〕、…	2022/8/1
p.139 17行め	…アナグリプチン（スイニー®）である。	…アナグリプチン（スイニー®、透析患者では1回100 mg、1日1回で使用可能）、テネリグリプチン（テネリア®）である。	2022/8/22
p.139 「表1 高度腎機能低下時に使用可能な経口血糖降下薬」	①DPP-4阻害薬のうち以下のもの ビルダグリプチン（エクア® 透析患者に1回50 mg、1日1回で使用可能） アログリプチン（ネシーナ® 透析患者では6.25 mg/日で使用可能） リナグリプチン（トラゼンタ®） アナグリプチン（スイニー®）	①DPP-4阻害薬 シタグリプチン〔グラクティブ®、ジャヌビア®。透析患者に慎重投与扱いで1日1回12.5 mg（最大25 mg）〕 ビルダグリプチン（エクア® 透析患者に1回50 mg、1日1回で使用可能） アログリプチン（ネシーナ® 透析患者では6.25 mg/日で使用可能） リナグリプチン（トラゼンタ®） アナグリプチン（スイニー® 透析患者では1回100 mg、1日1回で使用可能） テネリグリプチン（テネリア®）	2022/8/22

p.153	2行め	…赤血球414万/ $\mu$ L…	…赤血球377万/ $\mu$ L…	2022/9/22
p.228	2行め	…抗IA抗体は多くの…	…抗IA-2抗体は多くの…	2022/9/22
p.255	選択肢 (a)	…うえで飛沫感染予防策が…	…うえで空気感染予防策が…	2022/11/7
p.256	下から11行め	…ただしこれは生ワクチンであるため、免疫不全患者には接種できない。	…水痘ワクチンには生ワクチンと不活化ワクチンがあり、生ワクチンは免疫不全患者には接種できない。	2022/11/7
p.257	14行め, 24行め	Elsberg症候群	Elsberg症候群	2022/9/22
p.295	3行め	ANA 1280倍	ANA > 2560倍	2022/9/22
p.299	3行め	血漿浸透圧 = $2 \times (\text{血清Na濃度}) + (\text{血糖値})/18 + (\text{血清BUN})/11$	血漿浸透圧 = $2 \times (\text{血清Na濃度}) + (\text{血糖値})/18 + (\text{血清BUN})/2.8$	2022/8/1
p.311	4行め	もちろん選択肢の (a) の胸痛	もちろん選択肢の (b) の胸痛	2022/9/22
p.350	21行め	Musk抗体	MuSK抗体	2022/9/22
p.382	下から3行め	uler-like projection	ulcer-like projection	2022/9/22
p.401	選択肢 (d)	…骨髓球より未熟な細胞が…	…骨髓球以降の成熟した細胞が…	2022/9/22
p.411	8行め	拡散アナログ	核酸アナログ	2022/9/22